

【特別講演Ⅱ】

「今さら聞けないピロリ菌の話 ～基本から最近の知見まで～」

講師 医療法人社団魁正会 服部胃腸科

藤江 里美

座長 医療法人社団魁正会 服部胃腸科

古庄 誠二

今回は *Helicobacter pylori* についてのお話です。

2000年に消化性潰瘍患者の除菌治療が保険適応になって以降、ピロリ菌の持つ病原性の認知度が増し、その後2013年にはピロリ感染胃炎全例に適応が拡大しました。除菌治療が始まって20年以上が経過し、ピロリ菌が胃癌発症の一因であることも証明されてきました。私たち日本人にとって国民病とも言われる胃癌のリスクを下げる意味でもピロリ菌の除菌は大変大きな意味を持っています。

そこで今回は、ピロリ菌に関する診療に携わる者として知っておきたいピロリ菌の基本事項から感染診断・除菌治療について再確認をします。ピロリ菌に感染していなければ胃がんにはならないのか？一度除菌に成功したら大丈夫？などの日頃の疑問点の解消や知識の再確認が出来る場となれば幸いです。